

第51回 株式会社MBSラジオ番組審議会 議事録概要

1 日時 2026年4月10日（金）

2 場所 対面会議形式

3 出席者 審議委員（5人出席）

委員長	積 徹宗
副委員長	くまざわ あかね
委員	斉藤 貞三郎
委員	景山 佳代子（書面参加）
委員	大畑 大介

放送事業者（7人出席）

代表取締役社長	原 巖一郎
常務取締役	山田 麻未
常務取締役	田中 良樹
編成局長	虎松 英樹
制作局長	大月 勇

番組審議会事務局長	高野 勝康
番組審議会事務局	服部 雅子

4 議題 I. MBSラジオからの報告

II. 審議議題「MBSラジオの番組・放送全般に関して」

5 議事概要 I. MBSラジオからの報告

春の番組改編内容についての説明

II. 審議議題「MBSラジオの番組・放送全般に関して」

審議委員からは、

- 一度始まった番組が長く続く傾向があり、何世代にも渡ってリスナーの記憶に残るような番組が多い。
- 出演者一人ひとりの人間味が放送にあらわれており、他の局にはない、独自の魅力に繋がっていると思う。
- 『ヤマヒロのぴかッとモーニング』に代表されるように、パーソナリティとリスナーの距離が非常に近く、生活の一部として馴染んでいるように感じる。

また一方では、

- 番組を長く大切に作る姿勢は良い面もあるが、「新しく聴き始める人への間口が狭い」という側面も感じる。
- 若手アナウンサーの個性が見える番組が少なく、若手が活躍できる番組がもっとあれば良いと思う。
- ラジオは身近なメディアであるからこそ、報道とバラエティの線引き、コンプライアンス・人権意識の強化が必要だと思う。

などの意見も出され、番組審議委員とスタッフの間で活発な意見交換が行われた。

以上